

町会・自治会 活動事例集

～本誌を作成した目的～

各町会・自治会の皆様が日頃より取り組んでいる様々な活動について、事例をまとめました。イベントへの参加を促進する取り組みや、他団体と連携した事業、デジタル活用などをご紹介します。

今後の町会・自治会活動の参考やヒントにいただければ幸いです。

目次

イベント実施

- 北二町会盆踊り大会(北品川二丁目町会) 1
- 北三青年部BBQ懇親会(北品川三丁目親和会) 2
- お餅つき大会(炊出し訓練)(小関親睦会) 3
- お花見の会(洸崎町会) 4
- 夜店(東品川一・三町会) 5

他団体との 連携・協働

- マンション合同防災訓練(櫻心会町会)..... 6
- 桜まつり(小山五丁目町会、小山六丁目町会、荏原五丁目町会、
荏原六丁目町会、荏原七丁目町会、旗の台一丁目町会)
..... 7

デジタル 活用

- Instagramアカウント開設(ハッ山町会) 8

その他

- 地域みまわり隊(都営北品川第二アパート自治会) 9
- 東大井区民集会所の自主的な運営(大井第一地区管内
東大井の各町会) 10

品川区町会自治会連合会HPはこちらから→



北品川二丁目町会

旧東海道品川宿の本宿にある町会です。
品川宿の伝統と文化を保持しながら新しい試みを取り入れ、品川神社祭礼の神輿・山車の渡御、宿場まつりの花魁道中、北二大山講の大山参り、夏の盆踊りなどの風物詩、ラジオ体操、リサイクル活動などさまざまな活動をしています。



加入世帯数	約 1, 5 1 0 世帯	地域センター	品川第一地域センター
最寄り駅	京浜急行線 「新馬場」 駅		
ホームページ SNS等	—		

北二町会 盆踊り大会

イベント実施のためのアイデア！

夏の風物詩として、8月の土日の二日間、聖蹟公園で盆踊り大会を開催しています。町会で保有している2段櫓(やぐら)を中心に、商店街の協力店が模擬店を出店し、毎年大勢の方々と賑わう恒例行事！町会員のコミュニケーション活性化の一助も担っています。

経緯

以前は、商店街を通行止めにして毎年場所を変えて行っていましたが、平成10年現会長就任時に、聖蹟公園での実施に変更。以降、毎年実施し、夏の風物詩となっています。

事前に準備したこと

- ・やぐら設置・電気配線、テント・机のレンタルなど各種事業者との調整
- ・飲料物の調達
- ・商店街協力店との調整等
- ・周知用チラシの作成



呼びかけの方法

- ・町会員宅へのチラシ配布
- ・町会掲示板への掲示
- ・会場に看板を設置し開催日のお知らせ

効果

- ・町会の団結力の向上
- ・町会員同士のコミュニケーションの向上
- ・町会加入促進



活動のポイント

一町会が行う規模の盆踊りとしては、異例ともいえる櫓(やぐら)や賑わいを見せるこのイベントは、品川第一地区の夏の風物詩と言えるイベントになっています。町会員同士はもちろん、町会を超えた地域コミュニティ促進の一助を担っています。

活用した補助金
支援制度など

東京都地域の底力発展事業助成金

北品川三丁目親和会

我が町会は、北は新八ツ山橋、南は目黒川を越えた南品川四丁目の一部、西は山手通りの新幹線ガード手前まで続く、広い地域です。町内には、品川学園・品川女子学院があり、アカデミックな一面や権現山の桜・品川神社鎮守の森・子供の森公園の緑と落ち着いた雰囲気のある町会です。そんな我々の町会は「居心地の良い」「和(輪)のとれた」町会を目指しています。



加入世帯数	約 1, 2 1 0 世帯	地域センター	品川第一地域センター
最寄り駅	京浜急行線 「新馬場」 駅		
ホームページ SNS等	—		

イベント実施のためのアイデア！

北三青年部 BBQ懇親会

通常の町会活動では深める事が少ない会員・家族同士の親睦を深めるために令和5年度から開催。青年会を支えてくれる家族へのお礼と家族同士の結束を高め、町会活動における青年会への理解を目的に始めた行事が恒例行事となり、毎回大盛況です。

経緯

数十年前に自然消滅してしまった「青年会」。町会員の高齢化に伴い、祭礼や納涼祭には青年の力が必要となり、数年前から町会内の青年に支援や協力の呼びかけ、現在の「青年会」が発足しました。そこで、この会の活動の一助としてスタートしました。

事前に準備したこと

- ・備品や道具の借用
- ・BBQの食材や飲み物の調達
- ・周知用チラシの作成



呼びかけの方法

- ・町会回覧板にお知らせを記載
- ・町内掲示板への掲示
- ・青年部会のLINEで家族参加を促した



効果

- ・ご家族に青年会の雰囲気や活動を理解してもらえた
- ・青年会の結束力の向上
- ・町会倉庫の整理整頓、道具の使用に慣れた
- ・青年会の会員募集に繋がった

活動のポイント

- ・参加人数の把握から材料調達や設営準備などの事前準備が大切です。
- ・事前に担当を決め、それぞれの役割を全うしてもらうことです。
- ・初めての参加で、なじめない方々への声掛けや気遣いが大切です。

活用した補助金 支援制度など

町会・自治会児童参加地域事業補助金

小関親睦会

永年にわたり準工業地帯として栄えて来たまちも昭和53年頃から、マンションが建ち始め、今では住民の9割以上はマンションの住民。主な町会行事は3月の清水稲荷例祭、防犯パトロール、町内清掃、6月の品川神社例大祭、10月の町内家族会、12月の餅つき大会、歳末警戒等を実施し、古き良き伝統を守り町内の親睦を図って行きたいと思います。



加入世帯数	約3,000世帯	地域センター	品川第一地域センター
最寄り駅	JR山手線「大崎」駅		
ホームページ SNS等	ホームページ： https://koseki.choukai.org/		



イベント実施のためのアイデア！

お餅つき大会 (炊出し訓練)

毎年12月第1日曜日に小関会館にて「お餅つき大会」を実施しています。お正月のお供え餅を清水稲荷神社と館内の神棚にお供えして毎年の無事とくる年の平安をお祈りします。
この催しは、災害時の炊出し訓練として竈(かまど)と羽釜・薪を使用し臼と杵でつき上げます。子供たちの餅つき体験も出来て大好評です。

経緯

当地区はマンションにお住まいの方が90%以上でコミュニケーションをとりづらいますが、町会の四大会事を通じて、顔見知りになり、和気あいあいと過ごせる街になりつつあります。子ども同士・親同士の交流の場としても、お餅つきは続けていきたい行事の一つです。

事前に準備したこと

- ・薪を使用しての炊き出しのため、防火対策と近隣への煙発生のお知らせ
- ・もち米等材料の調達
- ・各種申請（区役所、消防署など）
- ・周知用チラシの作成



呼びかけの方法

- ・年間行事として組み込み、総会で提示
- ・町会掲示板及びマンション掲示板
- ・御殿山小学校地域コーディネーターを通じた児童へのお知らせ
- ・高齢者クラブの会報で参加の呼びかけ

効果

特にお子様の餅つき体験、来場者への無料試食は好評で、保護者や付き添いの方同士が知り合いになり、地域のコミュニケーションが計れています。昨年は、600人以上の方に楽しんでいただきました。

活動のポイント

地域のコミュニケーションが図れることで、万が一の災害時に避難誘導がスムーズに行えること、日ごろの防犯活動、交通安全の声掛け、児童見守りがうまく行えることを目指しています。

活用した補助金
支援制度など

東京都地域の底力発展事業助成金

洩崎町会

洩崎町会は古くから漁師町で栄え、目黒川の入口で「のり漁」が盛んな町会でした。今は、集合住宅が増加し古くからの寄木神社周辺には新たな住人が増加しています。



加入世帯数	約 8 1 0 世帯	地域センター	品川第一地域センター
最寄り駅	京浜急行線 「新馬場」 駅		
ホームページ SNS等	—		

お花見の会

イベント実施のためのアイデア！

毎年4月第1日曜日に開催しているお花見の会。会場となるのは、町会会館の前にある洲崎公園。ここ数年は、満開の桜の下で開催できています。町会員同士の交流の場と関係団体とのコミュニティ強化として、年度初めの恒例行事です。

経緯

荏原神社天王祭が古くから6月に海で神輿を担ぐ海中渡御が行われていました。その後、町会が出来てから広場でお花見や盆踊り（納涼祭）などが開催されるようになりました。実施し始めた時期は定かではありませんが、長く続いている町会の恒例行事です。

事前に準備したこと

- ・周知用チラシの作成
- ・食材や飲料、材料の調達
- ・テーブルや椅子の設置



呼びかけの方法

- ・町会回覧板への掲示
- ・役員会などでの周知
- ・関係団体への招待状の送付

効果

- ・町会員同士の交流、団結力の向上
- ・関係団体とのコミュニティ強化
- ・町会加入促進



活動のポイント

洩崎町会では、お花見・お祭り・納涼祭を主とし1年を通して様々な活動をしています。その活動をとおして、新たな住民の方との交流や新規町会加入に繋げていくよう試みています。

活用した補助金 支援制度など

町会・自治会児童参加地域事業補助金

東品川一・三町会

利田神社境内に品川区文化財に登録されている
鯨塚(くじらづか)のある町会です。

品川駅から徒歩圏内という恵まれた立地にあり、交通の便が
良く、生活の利便性も高く落ち着いた雰囲気があります。



加入世帯数	約 4 1 0 世帯	地域センター	品川第一地域センター
最寄り駅	京浜急行線 「北品川」 駅		
ホームページ SNS等	—		

夜店

イベント実施のためのアイデア！

9月第一土曜・日曜の二日間、利田神社のお祭りに合わせて、
町会で夜店を開いて、町会の方々との交流を図っています。
毎年親子連れや友だち同士で来る子も多く、子どもたちの笑顔が
溢れている夏の恒例行事です。
おでんは、毎年大好評であったという間になくなります！

経緯

利田神社の祭礼に合わせて、町会の交流をは
かろう！と始まりました。

町会役員により、おでん・焼きそば・かき
氷・コロッケ・ヨーヨーなどの模擬店が出店
され、活気に満ち溢れ賑わっています。

呼びかけの方法

- ・町会の掲示板への提出
- ・回覧板



事前に準備したこと

- ・テントの設置、提灯
- ・夜店食料の調達
- ・周知用チラシの作成



効果

- ・町会役員と町会員とのコミュニケーション
がとれる
- ・行事によって、町会の活動を知ってもらえ
る

活動のポイント

- ・役員が協力して、行事を盛り上げています。
- ・町会員との触れ合いの場として、町会の行事参加に役立っています。

活用した補助金 支援制度など

町会・自治会児童参加地域事業補助金

おうしんかい

桜心会町会

旧東海道に面し、南品川1丁目及び一部分南品川2丁目、北品川2丁目にあり、明治37年に創立した由緒ある町会です。法人・店舗を含む約2,000戸のうち約400戸の会員数を擁しています。



加入世帯数	約430世帯	地域センター	品川第一地域センター
最寄り駅	京浜急行線 「新馬場」 駅		
ホームページ SNS等	ホームページ https://sakura.chokai.gr.jp/		

マンション合同 防災訓練

他団体との連携・協働のためのアイデア！

東京都の「町会・マンションみんなで防災訓練」の案内をみて、町会内のあるマンションとの連携づくりのきっかけに、マンションと合同で防災訓練を開催。当日は、町会未加入のマンション住民の方やお子様だけの参加もあり、有意義な訓練を開催できました。

経緯

会長会議内で東京都の事業周知があったのをきっかけに、町会役員内で話し合い、マンションとの関係性づくりのきっかけで開催。

呼びかけの方法

- ・マンション内の掲示板に掲出
- ・町会掲示板に掲出
- ・マンションの理事会や町会の会議で周知

事前に準備したこと

- ・東京都の委託事業者支援のもと、訓練内容の決定
- ・消防署への協力依頼



効果

- ・町会活動を知ってもらうきっかけになった
- ・マンションの方々とのつながりが生まれた
- ・町会加入につながった
(町会未加入の参加者が町会加入された)

活動のポイント

いつ起こるかわからないからこそ、日ごろからの備えが大切です。町会とマンション、それぞれの役割と備蓄を確認するとともに、顔見知りになることで、支え愛が生まれ、町会のコミュニティ活性化につながりました。

活用した補助金
支援制度など

東京都「町会・マンションみんなで防災訓練」

他団体との連携・協働

小山五丁目町会・小山六丁目町会・
荏原五丁目町会・荏原六丁目町会・
荏原七丁目町会・旗の台一丁目町会
※小山五丁目町会は荏原第一地区管内

立会道路を挟んだ6町会（小山五丁目町会・小山六丁目町会・荏原五丁目町会・荏原六丁目町会・荏原七丁目町会・旗の台一丁目町会）と荏原会、荏原警察署、荏原消防署、荏原消防団、地域の学校、協力団体などが連携して、まちの賑わいを創出しています。



加入世帯数	約3,540世帯（6町会合計）	地域センター	荏原第一/荏原第二地域センター
最寄り駅	（荏原第一）東急目黒線「武蔵小山」駅/（荏原第二）東急池上線「旗の台」駅		
ホームページ SNS等	小山五丁目町会 Instagram 	荏原六丁目町会 ホームページ 	荏原七丁目町会 デジタル掲示板 

桜まつり

他団体との連携・協働のためのアイデア！

品川区立荏原南公園で、桜の季節に合わせて毎年「桜まつり」を開催しています。令和7年で53回目を迎えたこのイベントでは、多くの団体がブースを出店。美味しい食べ物やゲームを通じて、子どもから大人まで地域の魅力を楽しめる場となっています。

経緯

「桜まつり」の始まりは、地域の有志が桜の季節に子どもたちのために開催していた縁日です。その後、昭和40年代後半に、立会川の暗渠化(あんきょか)に伴い立会道路が完成した際、地域活性化を目的に正式な「桜まつり」として発展しました。年々規模を拡大し、現在、6町会と1団体が共催する地域の大イベントとなっています。

事前に準備したこと

- ・町会が持ち回りで当番を務め、出店内容や参加団体の調整を行っています。

- ・地域との絆を深めるため、官公署、地元学校、ボランティア団体などにも参加を呼びかけ、多様な体験ができるイベントを目指しています。

呼びかけの方法

- ・町会回覧板
- ・町会ホームページ
- ・地域新聞 等

効果

このイベントは53回の長い歴史を持ち、毎春多くの来場者で地域に賑わいをもたらしています。さらに、町会や学校の枠を超えた新たな人間関係が生まれ、緊急時にも助け合える絆が育まれています。



活動のポイント

人気の高い「桜」をテーマとしていることと、地域のつながりを大切に続けてきたことです。

活用した補助金 支援制度など

—

ハッ山町会

品川区北東に位置する町会であり、北東の角地は鬼門とされているため、稲荷神がまつられており、町会で管理しています。オフィスと一般町会員が混在する町会で、一般町会員は19軒しかありませんので、マンションとの協力で行事などを行っています。



加入世帯数	約620世帯	地域センター	品川第一地域センター
最寄り駅	京浜急行線 「北品川」 駅		
ホームページ SNS等	Instagram @yatsuyamac		



Instagram アカウント開設

デジタル活用のためのアイデア！

マンションや企業が多く、新規の町会加入者が少ないことから、日々の町会活動にも支障をきたすようになっていました。そこで、今まで紙面のみで行っていた町会行事の周知をデジタル化するためにInstagramアカウントを開設し若者世代にも興味を持ってもらう取り組みを開始しました。

経緯

令和5年度の品川区伴走型支援プログラムを活用し、町会の情報配信のツールの一つとして、Instagramのアカウントを開設しました。

呼びかけの方法

- ・マンション掲示板にQRコードを掲載
- ・町会回覧板等でInstagramアカウントの周知
- ・品町連ホームページにアカウント開設をお知らせ

事前に準備したこと

- ・SNS活用についての検討
- ・Instagramアカウントの開設
- ・情報の配信について、町会内で共有

効果

- ・町会活動を知ってもらう役割を担う
- ・町会活動に興味をもってもらえる
- ・町会未加入者の行事参加者が増えた
- ・町会行事に参加された町会未加入者からその場で町会加入があった

活動のポイント

- ・定期的な情報配信で町会活動を幅広い世代に向けて配信します。
- ・子どもや親御さんに興味をもってもらえる情報配信を心掛けています。
- ・町会活動を知ってもらえる内容を継続的に配信します。

活用した補助金 支援制度など

伴走型支援プログラム

都 営 北 品 川 第 二 ア パ ー ト 自 治 会

都道を挟んだ向かいは、港区港南の超高層ビル群です。
歴史的な八ッ山町会の隣の2棟のアパートが当自治会です。
全264世帯で約50年以上の歴史があります。
高齢者が増加しているのが悩みの種です。



加入世帯数	約264世帯	地域センター	品川第一地域センター
最寄り駅	京浜急行線 「北品川」 駅		
ホームページ SNS等	—		

地域 みまわり隊

取り組みのアイデア！

各階（11フロア×2棟）にいる「みまわり隊員」は、自分の階だけを注意深く、丹念に見廻るようにしています。
異常の有無の確認はもちろんのこと、全戸各玄関ドアに「元気ですよ」のニコちゃんマークのマグネットを確認し、異常があれば会長に連絡をする体制を整えています。

経緯

- ・「みまわり隊」を創設して約20年。
- ・今までに孤独死を防いだ事例は10件前後と非常に実績がある。

呼びかけの方法

- ・「お変わりないですか？」の一声
- ・雑談の徹底
- ・月1～2度の集会場へのお誘い
（お茶のみ、お話で懇親を兼ねて実施）

事前に準備したこと

- ・全住民に「みまわり隊」活動の周知
- ・「ニコちゃんマーク」の購入

効果

- ・孤独死の防止
- ・品川警察・品川消防署・東京都住宅公社から感謝の言葉をいただいている
- ・住民の安心感の向上
- ・コミュニティの活性化

活動のポイント

- ・誰にでも体感する事例を普段の世間話で励行しています。
- ・日常の会話から些細な変化でも事前に気付ける様にコミュニケーションを図っています。

活用した補助金 支援制度など

—

大井第一地区コミュニティ運営委員会 (大井第一地区管内 東大井の各町会)

大井第一地区には21の町会・自治会があり、それぞれ活発に地域交流事業を行っています。このうち、東大井には、鮫洲曙町会、鮫洲北町会、鮫洲仲町会、鮫洲南町会、大井北浜川東町会、北浜川西町会、北浜川仲町会、大井関ヶ原町会、大井元芝町会、大井立会町会、東大井月見台町会、東大井林町会の12町会があります。



加入世帯数	約8,800世帯	地域センター	大井第一地域センター
最寄り駅	京浜急行線 「鮫洲」駅・「立会川」駅		
ホームページ SNS等	—		

東大井区民集会所の自主的な運営

自主的な運営のアイデア！

平成2年に、地域の念願かなって東大井区民集会所がオープンしたことに伴い、施設の運営は地域の力で行おうと東大井の各町会が中心となって「大井第一地区コミュニティ運営委員会」を設立しました。以来、区が維持管理や利用受付を業務委託する方法で、同委員会が施設の管理運営を行っています。

経緯

東大井の地域には、交流の場となる集会施設がありませんでした。昭和61年に地元の町会から、自分たちが運営するので集会所を作ってほしいとの強い要望を受けて、区は平成2年、東大井区民集会所を開館しました。

事前に準備したこと

東大井区民集会所の建設に際して設立された建設準備の発起人会および建設協議会が前身となり、集会所の完工に合わせて運営委員会会則を制定しました。

呼びかけの方法

現在は、東大井の町会長を中心として連合町会長を加えた14人の構成で、毎年、総会および役員会を開催し、施設の管理運営を行っています。

効果

施設の維持管理を徹底し、良好な状態を保っているのみならず、周辺環境美化にも努め、気持ちよくご利用いただけることを常に心がけています。その甲斐もあり、令和6年度における区民集会所の利用実績は2,247件23,229人で、地域活動の拠りどころとなっています。

活動のポイント

区が施設管理の手法として、地域を運営の主体とする画期的な方法を取り入れることができたのも、「地域の施設は地域の手で運営する」という確固たる信念が地元町会を中心としてあったからこそだといえます。

活用した補助金 支援制度など

—



「町会・自治会活動事例集」
令和7年8月発行
品川区地域振興部地域活動課
東京都品川区広町2-1-36
TEL : 03-5742-6690（直通）
FAX : 03-5742-6877
<https://www.city.shinagawa.tokyo.jp/>